

ON MONDAY スイッチオン・マンデー

ビジネスを始める人たちの間で、設備や資金を持つではなく共有して済ませる例が増えている。十分な開業資金を蓄えなくても起業しやすいのが魅力。ベンチャー長者を目指す人に、こうした「シェアリング」がさらに広がる可能性がある。

▼自分の店舗、自分のオフィスをまず開く。「昔前だつたらビジネスを始めるのに当たり前だったことが、当たり前でなくなり始めてい

JR渋谷駅から徒歩十分弱の距離に、一風変わった店舗がある。日中は美容院、夜は焼酎バー。夕方は双方の営業時間が重なり、髪形を整える人と焼酎を味わう人がガラス一枚をはさんで共存する。物件全体を美容師の寺田和夫さんが借り、バー部分だけを山口昌宏さんにまた貸している。一人で別の業態で店舗を運営することについても、物件所有者から承諾を得た。保健所からは、美容院と飲食店の営業許可を別々に取扱った。そんな手間をかけても「開業負担は半々、物件も有効活用できる」(寺田さん)。物珍しさも手伝い、昨年秋の開店以来売り上げは好調だといふ。

自前にこだわらないのはオフィスでも同じだ。ソフト開発のコムサクシード研究所が四月に本社を置いたのは、JR神田駅前のビルの一室。コ

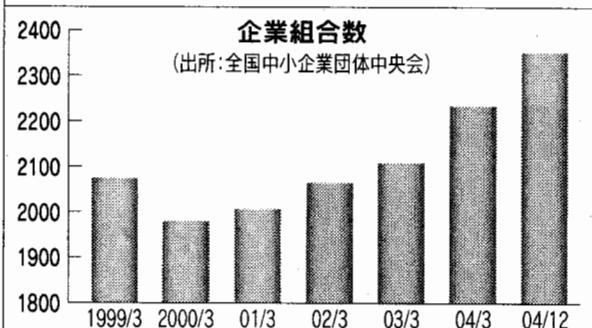
シグナル発見

見つけた!

・オフィスや店舗を共有する起業家が増加

その意味は

・ベンチャーにも「持たざる経営」が浸透



同一店舗内にバーと美容院が同居する(東京都渋谷区)

が、企業組合という制度だ。
並行して見直されているの

は「多額の開業資金をためり、しっかりとビジネスプランを固める前に事業を始める人が増えているのが今の起業の状況」と話す。

◆ ◆ ◆

政府は経済の活性化のため起業支援制度を拡充してお

り恒久化される「円起業」のほか有限責任事業組合(LP)、合同会社(日本版LLC)といった起業しやすい組織も来年にかけて解禁される見通し。走り出した「持たない文化」もさらに普及すれば、日本の起業環境はかなり改善していくかもしない。

(経済解説部 伊東浩一)

VBも「持たざる経営」

開業資金・店舗をシェア

スモ石油の不動産子会社、コモビビジネスサポート(東京・千代田)が保有する時間貸オフィスの中にある。月額五万二千五百円で受付と電話番を依頼でき、一部屋を三十

▼シェアリングが広がっているのは、ベンチャーの間でも「持たざる経営」へと発想の転換が進んだからだ。起業する際にも、負担の軽い組合制度が見直されている。

大企業ではすでに、不要な資産は抱え込まないことが半ば常識となっている。これが

かかる前にこだわらない人も高まってしまう。

小企業団体中央会(友人とともに昨年七月、IT(情報技術)ベンチャーのトリオんサイト企業組合(東京・千代田)を設立した東大

大学院生の高尾正樹さんは「組合形式にしたのは責任をみんなで共有できるから。オフィスや会社組織を持つのは経営が軌道に乗ってからで構わない」と話す。

して、ベンチャーの利用が増えているのが背景」(全国中

会員が協同組合向けで利用が減っていたが制度改正などを機に反転し、二〇〇四年一二月末の総数は二千三百五十二と三月末から五%の増加。等で、経営に共同で参画、決断や資金のリスクを分担できるのが特徴だ。

時間まで使える。

社長の田中正人さんはプロ

グラマーで、地元の秋田県から事業拡大のため東京に移った。自分ともう一人の社員は先を飛び回るが会議や接客のスペースも必要で、時間貸オフィスを活用することに

した。田中氏は「オフィス代が浮く分、今度は社員を増やしたい」と語る。コスモによれば、神田オフィスの利用者の半数以上がベンチャー企業だ。

貸しオフィスではハッチ工

ツグ(東京・中央)も、壁など仕切りを作らないオーブンスペース型の「ビジネスサロンヘイズ銀座」を昨年五月に開設。会員契約した個人や企業が頻繁に入り出して机を利用している。

▼シェアリングが広がっているのは、ベンチャーの間でも「持たざる経営」へと発想の転換が進んだからだ。起業する際にも、負担の軽い組合制度が見直されている。

大企業ではすでに、不要な資産は抱え込まないことが半ば常識となっている。これがかかる前にこだわらない人も高まってしまう。

こうした環境で、コストがかかる前にこだわらない人が増えるのは自然な流れだといえる。ハッチエッグの平田彰彦社長